

時代区分	西 曆	年 号	月 日	事 項
近 明         代 治	1883	明治16	4・30	若松大火 70戸焼失 ○伊達郡役所が保原町より桑折町に移る。 ○各村の戸長役場を廃して梁川町外11ヶ村戸長役場を置く。
	1884	〃 17	1・8	粟野小学校 新築校舎竣工。 ○二野袋大火 10数戸焼失。 ○粟野消防組組織される。
			9・1	福島中学校 開校。
			10・29	梁川栄町の戸長役場上棟式。 戸長 前田重之 学務委員 亀岡重輝 梁川村世話係 八幡 佐藤要吉、舟生 佐々木忠吉、山舟生 秋葉永治郎、 白根 佐藤宇佐吉、細谷 佐藤茂左衛門、新田 斎藤伝右 衛門、柳田 渡辺三平、粟野 池田長治郎、二ノ袋 遠藤 喜三太、向川原 桃井与五右衛門、梁川 堀江里
			12・17	東京一仙台間 郵便馬車による運送開始。
			12	三島県令 転じて赤司欽一知事となる。
	1885	〃 18	3	梁川蚕種業組合設立される(事務所 元陣内2)
			4・22	梁川 堀江氏らの尽力により霊山神社 別格官幣社に昇格。 ○梁川街道開通。
	1886	〃 19	3	東北本線 本県分工事着工。 ○米価 1石5円60銭 教員平均給料男8円、女5円。
	1887	〃 20	4	梁川高等尋常小学校改築 東北本線 仙台、塩釜まで開通、郡山、福島など各駅完成 粟野蚕業技術研究所設立。
			〃 8	この頃梁川町の戸数2994戸、梁川929、白根235、 山舟生262、五十沢240、東大枝146、粟野432 (粟野128二野袋117向川原121柳田66) 堰本447(大関194細谷106新田147)、富野 303(八幡103舟生200)
	1888	〃 21	2・24	飯坂大火 280戸焼失。
		4・17	市町村制公布される。	
		6	梁川村外11ヶ村 生糸商組合認可される。	
		8	会津磐梯山噴火。	
		10	農商務令により福島県蚕種検査所梁川出張所を開設	
		〃	伊達郡蚕卵種業組合設立 ○瀬ノ上阿部又兵衛 福島県で初めてリングを栽培	
1889	〃 22	2・11	大日本帝国憲法発布	
		4	町村制実施(県下の町村413となる) 梁川村は梁川町と改称(人口4715) 舟生村と八幡村が合併 富野村(人口1969)	